

【長野県】校務DX計画

2024年9月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	-	100%	-	-	-
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	-	100%	-	-	-
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	-	-	100%	-	-
選択項目	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	-	-	100%	-	-
	21.教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用している学校の割合	-	-	100%	-	-
	22.授業研究会や校内研修等をハイブリッド(対面・オンライン)で実施している学校の割合	-	-	-	100%	-
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	令和5年度に実施した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト(学校向け)」において、取り組んでいる学校の割合が低い項目及び優先して100%を目指すべき項目を目標として設定した。実現のために障害となる課題は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 学校現場におけるペーパーレス化やDXへの意識の浸透 保護者の理解 ICTを苦手とする職員への支援 校務端末の入れ替え(性能の低い端末では校務に支障が出るため) 				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> 取組の段階的な実施(モデル校から全体へ波及) DX推進に向けた支援体制の充実 ソフト面、ハード面双方の環境整備 				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<ul style="list-style-type: none"> 現行のネットワークシステムについて、次世代校務支援システムに対応できるシステムへの更改を検討する。 継続的に情報収集を行い、望ましい校務のあり方の検討を進める。 				